

原大カトリオ + 山田穰

原 大カ(Dr) 鹿児島ラサール高校卒業。高校3年の時にドラムを始める。千葉大学入学後、本格的にドラムを勉強する。在学中、早稲田大学モダンジャズ研究会に入りレギュラードラマーとして活躍。1981年ミッキー吉野等と知り合いプロ入り。その後1984年から3年間、海老沢一博氏に師事。1987年渡米、パークリー音楽院に入学。1991年帰国、すぐに宮ノ上貴昭&スモーキン、山田穰カルテット、多田誠司カルテットのレギュラードラマーとして活躍。同年“スモーキン”のレコーディングに参加。1992年大西順子トリオに加入。現在、山田穰カルテット、多田誠司カルテット等のレギュラードラマーとしてパワフルなドラミングで、日本ジャズシーンをスウィングさせている。



山田 穰(as) 故前川元(元シャープ&フラッツ)に師事する。16歳から1年半をニューヨークで過ごし、Daniel Banks氏に師事。1986年、大学在学中に再び渡米、パークリー音楽院に留学し、ビル・ピアーズ、ジョー・ピオラに師事。90年に帰国し、大坂昌彦、原朋直、嶋友行らとともに椎名豊クインテットに参加。その後、秋吉敏子、日野皓正、日野元彦、本田竹広、益田幹夫、小林陽一、大西順子など、数多くのミュージシャンと共演を重ねる。現在は松島啓之クインテットや自己のグループ等で都内のジャズクラブを中心にライブ活動を行っている。'96に行われた第2回「ハイネケン・ジャズ・コンペティション」でグランプリ受賞。'98 '99 '00、スイングジャーナル誌日本ジャズメン人気投票で、一位となる。(01、2位)



ユキ・アリマサ(P) '83年に大学卒業後、渡米。パークリー音楽院でジャズピアノ演奏、作編曲を学ぶ。在学中、ピアニストとして、ハンクジョーンズ賞を、またデュークエリントン作曲賞を受賞。86年卒業後、同校ピアノ科に助教授として8年勤務した後、Yuki Arimasa TrioのリーダーとしてCD、“The Bitter Life Of Scarecrow”を制作。また、Daniel Smith率いるBig and Phat Jazz Orchestraの作曲家として、また彼とのDuo Album“Dialogue”のピアニストとして参加するほか、Tierny Sutton、Patty Unitis、Florence Yersinといった多くのジャズボーカリストのAlbum制作にピアニスト、作編曲家として参加。ボストンのRegatta Bar、Scullers Jazz Clubを中心に数々のジャズグループとともにライブ活動をつづける。'97年に帰国。現在は、自己のトリオ、ソロ活動を勤め、また大坂昌彦等数多くの若手ミュージシャンと共に活動。



上村 信(B) 25歳から名古屋でプロ活動を開始。92年に大坂昌彦・原朋直クインテットに参加。以来、同グループのレギュラーベーシストを務める。94年には活動の拠点を東京に移し、大坂・原クインテットの他、大森明、辛島文雄のグループなど、首都圏を中心に様々なセクションで活躍。現在はこの他に、自己のカルテットなどでも活躍中。ハーモニーセンスの良さと、安定した力強いビートには定評があり、多くのミュージシャンの信頼を得ている。

